

茨城青司協瓦版

第18号

(年2回発行)

令和3年●月●日

会長 宮部 正樹
編集 山野邊 義敏

会長就任のご挨拶

第43代茨城青年司法書士協議会 会長

宮部 正樹



2021年2月の定時総会において太田亮介前会長から会長職を引き継ぎ、今年度の茨城青司協会長を務めることとなりました、水戸支部の宮部正樹と申します。

会長就任にあたり心に去来するのは、「いよいよ来たか」という思いと、司法書士試験合格以降青司協活動と共に歩んできた司法書士人生です(少し大げさですが)。

私は大学卒業後、公務員として就職しましたが、次第に「大きな組織に属して働くより、法律を使って人の役に立つ仕事を、入り口から完結まで見届けられるような仕

事がしたい」という気持ちが大きくなり、司法書士試験に挑戦しました。縁あって司法書士合格直後から自然と茨城青司協に入会し、勤務と並行して茨城青司協での研修会、35周年記念事業や全青司全国大会の主管を通じた他の司法書士との交流により司法書士としての人格を形成してきたといえます。

2020年1月に私が実行委員長を務め開催した創立40周年記念事業を最後に、1年半も集合研修や懇親会が自由に開催できない事態になるとは夢にも思いませんでした。現在も依然として新型コロナウイルス感染症の影響が日本社会を覆い、大変に困難な時代が続いています。我々個々の司法書士はそれぞれ独立の事業主体であると同時に、国民の権利を擁護し自由かつ公正な社会の形成を目指す仲間でもあります。人との繋がりが形成・維持しにくくなっているこのときに、情報交換し切磋琢磨し合う仲間を私たちは求めています。

今年度も、茨城青司協会員の皆様へは実

【今号の内容】

- 会長挨拶 ● 前会長挨拶
- 令和2年度下半期の活動報告
- 今後の活動予定
- 令和3年度役員紹介

会長退任のご挨拶

第42代茨城青年司法書士協議会 会長

太田 亮介



2020年度、会長職をお預かり致しました、太田亮介です。支部は下妻支部、事務所は八千代町にあります。

2021年2月27日(土)に茨城司法書士会館及びZoomを併用して開催されました定時総会におきまして、会長職を宮部会長に引き渡し、退任致しました。

就任当初は新型コロナウイルスが流行りだし、事業執行をどのように行ったらいいのか、悩む日々でした。就任前にやりたかった事業、思い描いていたことの全てが出来たかというともちろん、そんなことはありません。しかしそんな中でも、理事の皆様、会員の皆様のご協力のおかげでZoomを使った研修会や懇親会等、こういった状況の中でもできる事業を行ってまいりました。

新型コロナウイルスがなければ、事業の度に懇親会をして、会員の皆さん（特に若手）を巻き込んで全国大会や全国研修会に行って各地の司法書士と交流を持つてもらいたい、と考えていましたが、これは私自身、会長は退任しても理事として残りますので、コロナが終息したら引き続き、実践していこうと思います。

そして、会長を退任したら少しゆつくりとできるかなと思っていたところですが、現在私がいただいているお役目が「茨城青司協関連団体」である『全国青年司法書士協議会 月報発行委員会 委員長』及び『茨城司法書士会 広報部長』であります。とてもゆつくりなどしていただけませんが、いただいたものを精一杯楽しみながら活動していきます。

何はともあれ、1年間、ありがとうございます

いました。そしてこれからもよろしくお願います！

令和2年度下半期の活動報告

法律教室

日時：令和2年11月7日（土）
諏訪 知子

10時00分から11時30分

方法：Zoomを利用したオンライン講義

参加者：男子生徒4名（中学3年と高校3年）

生徒児童養護施設「るんびにー」に同居

女子生徒4名（中学3年と高校1年）

右記系列他施設に同居

施設職員3名

担当：講師 久松 太田

チューター 田中 諏訪

るんびにー以外の他施設の生徒も参加していただけることになりました。

しかしオンライン形式の法律教室開催は初めてのことで、担当者は事前にリハーサルを行いました。このリハーサルで画面共有の仕方、グループワークへの切り替え方などオンライン独特の操作を確認し、ネット音痴の私も何とかやれそうと自信ができました。

当日は9時から施設職員の皆さんと接続状況の確認を行いました。男子生徒は1人1台、女子生徒は2人に1台の端末が用意されていましたが、女子の施設では端末同士の距離が近いからかハウリングが起きてしまいます。そこでマイクを使うのは端末1台に変更し、トラブル回避をしました。1時間かけて接続状況確認作業が必要なのか、正直疑問に感じていましたが、なるほど、オンラインでは確かに必要な作業なのだ納得しました。

右記のとおり、児童養護施設で暮らす生徒向けに法律教室を開催しました。るんびにーでは以前、施設内で講義をしたことがあり、今回も当初、施設を訪問する形での講義を依頼されました。しかし感染予防のためオンライン形式の講義を提案したところ、快く承諾していただきました。また、おそらくオンラインならということでは、

十分な確認作業のおかげで講義は特にトラブルなく進みました。講義内容は従来通り、司法書士の紹介・契約の定義・法律クイズ・SNSの注意点という流れです。クイズは女子チームと男子チームに分かれて話し合いをしました。女子チームは活発に発言している様子でしたが男子チームは発言できない子が大半でした。女子は一か所

で皆で話し合えたのに対し、男子は各々個室に居て気安く発言するような状況ではなかったことも、この違いが生じた一因だと思えます。私は男子チームのチューターを務めました。活発な発言をどう引き出すかはオンラインでも（対面講義でも）課題です。

講義終了後のアンケートでは、生徒全員が「楽しかった」と回答してくれました。講義内容もきちんと言わっていたようです。初めてのオンライン講義でしたが、成功と言ってよいのでしょうか。ただオンライン講義と対面の講義とどちらが良いかという問いには、1対3で対面が優勢でした。「どちらでもいい」が過半数ではありませんが、次の機会があれば直接会って話したいと思えます。

第2回研修会

日時…令和2年12月12日（土）
須藤 勇樹

13時30分から

場所…会員各自の事務所等

方法…Zoomを利用したオンライン講義

内容…第1部 事例報告会

『とある会社経営者の相続から』

（13時35分～14時15分）

講師 茨城青年司法書士協議会

宮部正樹 会員

第2部 『登記にまつわる訴訟・

調停』相談から解決までの弁護

士の視点』（14時30分～16時30分）

講師 弁護士 吉岡隆久 先生

（茨城県弁護士会）

参加者…16名

右記の日程にて令和2年度第2回研修会を行いました。第1部 事例報告会』とある会社経営者の相続から』（講師 宮部正樹会員）は、実業家の遺産分割調停を起点とした、不動産登記・商業登記の案件をベースに、登記費用の請求時期・立替金の許容額等の主に事務所経営に関する点を、グループディスカッションを交えての講義でした。誰しも気になり、迷い、なかなか聞きにくい内容について、参加者各自の考え方や対策を意見交換できたことは、若手新人の会員はもちろん、大変参考になったと感じました。

第2部 『登記にまつわる訴訟・調停』

相談から解決までの弁護士の視点』（講

師 弁護士 吉岡隆久先生）は、広く所有

権の登記に関する訴訟・調停について、相

談時や受任した際の「困った」を解決でき

るような、実務的に良くある注意点を取り

上げ、弁護士の視点から事件に対する思考を解説頂き、痒いところに手が届く内容でした。

冒頭の総論的講義の後に、7つの事例（売買、二重譲渡、時効取得、名義貸し、不実登記、財産分与、遺産分割）を元に、注意するポイントや証拠方法、足の運び方、証拠の探し方、事実の積み上げ方など、具体的な対応について解説頂きました。アンケート結果も好評で、要件事実全般や建物明渡請求事件は近年実施済みであったため、登記訴訟の分野を扱うこととしましたが、今後、1つの事例を深掘りする登記訴訟の研修を企画しても良いと感じました。

最後に、例年、司法書士試験合格者を招いての忘年会を開催していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、司法書士試験日程の順延もあつたため、中止の決断をしました。早く顔を合わせて安全にお酒を酌み交わせるようになることを願うばかりです。



第3回研修会

根本 泰河

日時…令和3年1月23日(土)

13時30分～16時30分

方法…Zoomを利用したオンライン講義

参加者…18名

第一部

内容…事例報告「開業して3年の成功

事例と失敗事例」

講師…山野邊義敏会員

第二部

内容…「悩める司法書士業務！徹底討

論！～不動産登記案件を中心に

～

講師…コーディネーター

黒澤竜太 会員

パネリスト 篠塚健司 会員・

岩田哲孝 会員・三田村哲 会

員

第三部

内容…「グループディスカッション」

右記のとおり第3回研修会を開催しまし

た。

第一部は山野邊会員から、成功事例として長期にわたる相続案件の報告をしていたいただきました。相続において、登記に協力的

でない関係者がいることは、珍しいことではありません。その原因は、感情的なことや年齢的なことなどさまざまです。山野邊会員からは、そういった解決が難しい案件について、悩んだ点や解決方法など詳しく説明していただきました。私は、遺産分割調停の案件を扱ったことがまだ無いので、経験に基づいた講義が聞けてとても勉強になりました。また、失敗事例として、管理

していた登記識別情報通知を紛失してしまつたエピソードの報告がありました。無事に見つけて終わりではなく、その後の対応についても徹底していて、失敗を隠そうとしないことが大切なのだと思います。第二部は、パネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションというだけでも大変ですが、それをズームで行うということも、どうなるかと心配もありましたが、研修担当である久松会員の綿密な事前準備と、コーディネーター、パネリストの素晴らしい活躍で、とても充実したものとなりました。コーディネーターの黒澤会員が、各テーマについて、意見や体験談を聞いて、パネリストの方々からは、相続や決済などそれぞれの業務経験から見解を述べていただきました。なかなか聞けない踏み込んだお話まで聞くことができ、もっと聞いてみたいと思えるような講

義でした。

第三部は、寸劇を踏まえたグループディスカッションを行いました。寸劇は急な決済を題材とした案件で、各グループで意見交換をしていただきました。決済で予想外の事態が起こった際にどのように対応すべきかについて、貴重な意見を聞くことができました。

パネルディスカッション・グループディスカッションと、準備が大変なときもありましたが、その充実した研修会を開催することができたと思います。

全国一斉生活保護相談会及び事前研修会

近藤 有哉

1. 研修会

日時…令和3年1月24日(日)

9時30分～12時00分

場所…茨城司法書士会館及び会員各自

の事務所等

内容…生活保護相談についての勉強会

参加数…9人

2. 生活保護相談会

日時…令和3年1月24日(日)

13時00分～16時00分

場所…茨城司法書士会館

内容…生活保護についての相談
相談員…6人
相談件数…13件

右記のとおり、生活保護相談についての研修会及び相談会を開催しました。

午前中の研修会については、Zoomを利用してYouTubeに投稿された研修動画を視聴する方式で行いました。コロナ禍で多人数が一同に集まることを避けるために、会場に集まるのは相談員のみとし、他の研修受講者については任意の場所からZoomにアクセスしてもらい受講をするという方式を採用しました。コロナ禍での対策で取られた方式ではありますが、遠方の会員や講師はZoomを利用する等より積極的な活用方法への期待も感じることができました。

研修内容は、生活保護申請に関するものに加えて、コロナ禍での経済状況の悪化への対策として作られた制度の説明も含まれており、時代状況に応じて常に最新の制度を学んでいくことの必要性を感じる内容となっております。

午後からの電話相談では、コロナにより収入が減少し生活が苦しくなった事業主からの相談や、これから生活保護を申請するにあたっての不安感を抱える方からの相談

等、合計13件の相談を受けました。コロナ禍での生活悪化に苦しむ相談が寄せられたことから、当会で6月頃から行っていた、生活保護相談会の知識や経験も活かされたものと考えられます。

時代状況に応じて相談者に伝えられるアドバイスも常に変化することから、常に最新の制度を学び続ける必要があると感じるとともに、相談者の不安感に寄り添う姿勢も変わらず求められていると感じる相談会でした。

法律教室

久松 伸一

日時…令和3年2月20日(土)

方法…Zoomを利用したオンライン講義

参加会員…久松 宮部 太田 田中 諏訪

2月20日(土)、児童家庭支援センターあいびーさん主催のもと、茨城県内の児童養護施設の子ども達を対象にリモートにて『法律クイズ大会』を開催しました。

本来であれば、直接施設にお邪魔するなどどこかの会場で開催するところですが、コロナ禍ということでのリモート開催。それでも広い県内がりモートであれば近くなるというメリットもあり、参加の幅が広がるという良い側面もあると思いました。

今回は、4つの施設から各2から3名ほど参加していただき、各施設に司法書士が1名ずつサポートに加わり、クイズを一緒に考えるという形式で行いました。

合計5問行い、それぞれブレイクアウトルームによるシンキングタイムを設けてグループ毎に話し合っって答えを決めてもらい、施設対抗という形式をとりました。消費者トラブル、連帯保証人、キャッシングなどを題材としたクイズでしたが、回答が割れる問題も多数あり、開催した意義を強く感じました。

今後も、コロナの状況にかかわらずに、このような活動を続けていければと思います。

今後の活動予定

【茨城青司協】

9月11日 第2回研修会

9月25日 養育費相談会

10月 秋季懇親事業

【全青司】

11月13日～14日 全青司全国研修会(東京)

2月26日～27日 全青司全国大会(鹿児島)

令和3年度役員紹介

質問

- ①出身地
- ②ストレスがたまってきたときの解消法
- ③コロナ禍で新たに思ったこと、気づいたこと
- ④ご挨拶

会長 宮部 正樹 (水戸支部)



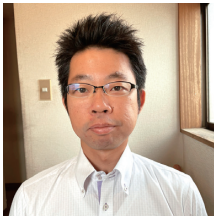
- ①水戸市
- ②アナログなことをする(料理をする、ドライブ、コーヒーを淹れる。ここに最近「包丁を砥石で研ぐ」が加わりました。)
- ③通常であれば青司協の懇親会で飲み歩いたり、全青司会議を飛び回って飲み歩いたり、一人で飲み歩いたりしていたことがなくなり・・・これまでそうやってお金を使っていたという恐怖(その分の浮いたお金が貯まったわけでは決していないのが残念)
- ④今年度は会長として、微力ではありませんが力を尽くしていきます。

副会長 田中 麻衣子 (水戸支部)



- ①新潟市。水戸市は11年目です。
- ②千波湖ウォーキング・音楽系の動画を見る。入浴剤のお風呂。平日の昼は外食しませんが、疲れすぎた、という時だけ大好きなカレー屋さんへ行きます。
- ③インドア派ですが、外出を制限されるのは意外にストレスなんだな、という事です。
- ④楽しんで試行錯誤しながら1年間やっていきたいと思っています。

会計 久松 伸一 (下妻支部)



- ①古河市(旧総和町)
- ②登山とキャンプを最近始めて大自然に癒されています。
- ③生活習慣がラッパと変わったけど、何かを失った分今まで満たされてきた部分部分が潤った気がしています。総量は一緒なんだと思いました。
- ④今年も楽しい企画で青司協を盛り上げていきます！

理事 松井 直 (下妻支部)



- ①古河市
- ②肉とパンが好きなので、おいしいものを食べに行きます。最近ハンバーガーにはまっています。
- ③意外と飲み会なくてもいけるなと思いました。
- ④まだまだコロナの影響は残ると思いますが、創意工夫、挑戦の気持ちでがんばります！

理事 太田 亮介 (下妻支部)



- ①埼玉原川口市
- ②お酒があれば何とでもなります。
- ③お酒は飲みに行かなくても、家でも飲める。でもやっぱり、青司協のみんなと飲みたいなあ
- ④会長退任後、「茨城青司協関連団体」でいろいろ大変なことはありますが、「楽しくなければ青司協じゃない」という言葉を実践すべく、会長経験者として宮部会長を支えていきたいと思っています。(太田家に新メンバーが加入しました。)

理事 須藤 勇樹 (下妻支部)



- ①日立市
- ②食べたいものを自分で作る。料理することが大事、でも食べることはもっと大事。
- ③選ぶことは投票すること。ファンを増やすことが、生き残ること。飲食店だけじゃない。
- ④理事4年目の須藤勇樹です。できることを増やすには、できることからコツコツと。

理事 諏訪 知子 (鹿行支部)



- ①埼玉原川口市。最寄り駅は蔵(わらび)。
- ②飲む。走る。ヨガする。
- ③YouTubeって本当に便利。
- ④今年はいままで人任せにしていたオンラインツールを使いこなしたいです。

理事 富山 純 (下妻支部)



- ①茨城県坂東市
- ②無心で過す。
- ③コロナ禍でも、できることはある。
- ④スカイ司法書士事務所の富山純と申します。よろしくお願ひいたします。

理事 根本 泰河 (太田支部)



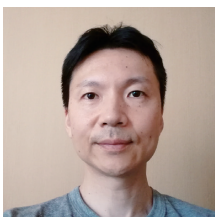
- ①常陸太田市
- ②ランニング・釣り・睡眠・ゲーム
- ③手洗い・うがい・マスク装着を心がけていれば、一年間だいたい健康でいられることに気づきました。
- ④今年で役員3期目となりました。研究会や相談会などで学ぶことも多いので、今年も頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

理事 三田村 哲 (龍ヶ崎支部)



- ①北海道
- ②スナック菓子、ウエストが不味いことになりました。
- ③夜8時過ぎにラーメンが食べたい。お酒は飲まなくても平気であることに気づきました。
- ④今年度、はじめて理事をさせていただきました。面白い研修等ができたと思います。

理事 山野邊 義敏 (水戸支部)



- ①水戸市
- ②今年の3月に生まれた息子と汗だくになって遊びます。
- ③飲み会に行けなくても意外と問題ないことに気づいた。でもさすがに少し淋しいなあ。
- ④理事4年目、今年も楽しみながら活動していきます。よろしくお願ひします。